

連載

稲村公望氏が昨年10月出版された「ふるさと心も姿も美しく未来の邦を今生きる」(郵研社03-3584-0878)の中から一部抜粋して、連載しています。

新旧アジアの公と私

昨年(一九九六年)六月、名古屋から那覇に転勤になる直前、意を決して、木曾川畔の治水神社を詣でた。奄美の出だけに、心底にわだかまりがあったが、築堤の千本松原の緑を見て心が晴れ、濃尾平野と貫流する大河川の決壊をどめる当時の大工事に驚き、総奉行平田靱負以下五十一人が、地元の寺にお手厚く祭られていることに畏敬を覚えた。

江戸幕府が薩摩藩に命じて、縁もない濃尾平野で工事をただでやらせたことではあるが、予算が二〇万両で、それが四〇万両に超過して責任をとり自刃した。鹿児島市内の平田橋と町名に残り、近くの公園に銅像が立っているが、島を出た中学生当時には思いも寄らなかつた意味合いである。アジアの賢人、シンガポールのリークアンユー氏は、国の発展の条件として、社会における格差の是正が政治の安定になるとして不公平の発生を抑えるべきを一義とし、公的機構の清潔を第二の重きとしている。官公

庁に就職したシンガポール人の友人は、万全のメリット主義で、官舎も給料もうらやましい程の相当なものであったが、仕事の業績がないとすぐやめさせられる酷さで、君はできるかと皮肉られた。

シンガポールは、英国の植民地時代から南洋の勝地であったにしても、独立後の政策は、古いアジアとはむしろ対峙する合理主義の世界を貫徹している。

最近では、駐車場の自動車にいたずらをした米国人の少年に鞭打ちの刑を実行して話題になった(筆者も日本の新幹線と競うフランスのTGVの車内で少女の手を鞭打つフランス人の父親を見たことがある)。哲人、賢人政治であっても、シンガポールとマレーシアには、個人崇拜に至るような人物献額の習慣はないし、都市計画にしても、英国の伝統を受けついで整然としており、熱帯のどつと降る大雨の排水の側溝・街路樹・住宅などはみごとにみものである。今となれば、マレーシアの東方を見

よ政策(ルックイースト)も、アジアを見よとはならないところが妙で、環境の中でも、ひとりひとりが自らの手で石垣を積みよような、いわば古いアジアの体質を排除するような、合理主義の例を、極めて選別的にアジアの中に見つけ出して学ぼうとする政策であった。

バンコックの目抜き通りに、小さな拝所のようなところがあり、華僑は、そこで契約書とか一切書き物なしに会社をつくる。約束を破れば子々孫々まで迷惑がかかると思われ、聞いたのが、僅かに十五年前のアジアであった。

中華街のその裏側に本社があった会社で、アメリカに輸出するときは丸のまま、東欧に出すときは四つか八つに割り、日本には骨なしチキンでと、世界市場への細やかな対応ぶりを聞かされたが、しかし子息を海外の大学におくり、グローバルな経営手法を学ばせ、従来の取引型を発展させて、しかも証券取引所に株を公開して、あつという間に東南アジア最大の銀行の株をぬく情報通信会社を創設している。香港では古いアジアの風情の九竜城を完全に壊してしまった。

この国では、江戸時代を含め、

稲村公望氏略歴

昭和22年徳之島の郵便局の宿直室で生まれる。

郵政省の情報通信政策、国際協力部門を中心に、福岡、バンコク、名古屋、沖縄等で勤務。平成17年3月退任。現在、中央大学客員教授。

明治維新の後も不思議なくらいに公と私との峻別と、同じような制服を着せられてもささやかなベンダントをつけるといった多様な個の主張の伝統があった。

東京の日比谷公園の中には、孫文の愛用したピアノを展示している松本楼と、フィリピンの志士、ホセリサールの記念碑があるが、思うに、当時の日本の他のアジアとは異なる伝統、つまりは古いアジア型の大家族主義とか、家族の秩序が最大重い儒教の精神のなさに、むしろ息をぬいていたように想像する。

公的機構の不祥事が相ついでいるが、これ以上古いアジアの体質に侵食されることなく、また諸国との国際交流にも、新旧の判別を注意深く行なう戦略的見通しをと肝に染めておきたい。

短期、即効、難病改善

木村気術院

予約優先 電話03-3672-0340

料金/初診料 1,000円 施術料 3,000円
[70歳以上特別割引あり]

●受付時間/午前10時より午後7時まで ●休診日/日曜・祝日

〒133-0057 東京都江戸川区西小岩1-20-8丸昌西ビル2F
(徳之島「夢」振興会議副会長 木村利良長男)ふる里の島 徳之島で生まれた蒸留酒の絶品
島興しの一助にと頑張ってます。

奄美酒類株式会社

東京出張所
〒160-0023 新宿区西新宿4-7-13-105TEL 03-3376-2966 FAX 03-3376-4351
ファックスで注文承っております。ご利用下さい